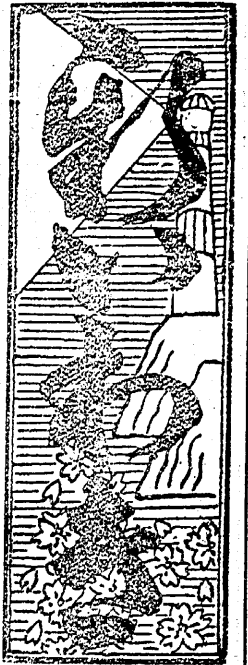


刊夕日八十二月九



日刊 日曜新聞 昭和四十四年九月二十一日 第一五七二號 発行所 新潟県新潟市中央区千代田二丁目一番地 電話 二二二二 代り 二二二二 新いづき新聞社

郷土出身戦没勇士の遺品展覧會と永保存 平市内三小學校と商業學校で 保存室は商業學校内に

平市では来る十月三日からの 服その他皇軍の勇武に對して 銃後々々援強化週刊實施につき 更に感謝を深めるもの多く尙 同期間中左記四ヶ校に於て郷 土出身戦没勇士の遺品展覧會 を開催すべくこれが出品の勸 奨を明二十九日市役所に各遺 族を招集打合せを行はれるが 少なくとも百點を見込まれる 出品の中には今二十八日市券 を執行したる高田中尉の舊戰 物を語る生々しい血染めの軍

夏井川の護岸工事 年度内に三萬圓で 平橋の上部と赤井の諏訪原

石城郡夏井川流域に於て洪水 時に氾濫被害を氣遣はれる平 橋の上流と赤井村諏訪原地内 護岸の工事施行は地元多年の 願望であつたが縣では愈よ本 年度中に施工を決定し目下平土 木監督所の實地測量中であつ て今九月中に設計を立て來十 月早々着工する手筈を進めて いる。同工事は

赤井村諏訪原地内に於ける もの(小學校向ひ假橋の上 部)約四百米の護岸根固の 工費約二萬圓、平橋上流は 好間村分にかゝる延長約二 百米の護岸根固の、工費約 一萬圓、

の七日市公會堂に講演會と映 畫會を開催することになつて いる。講演は午後一時からで 講師は本縣圖書館長阿部泰安 氏、映畫會は午後七時からの 筈である

縣下一般に大豊作 米増收の新記録か 増劃目標の二百萬石突破せん

縣農協本場では秋分の水稻作 の状況を上ぐれば次の如くで 柄につき去る二十六日發表し たが今年は縣下一般に大豊作 で各農家が一至乃至一割五分 の増收を見込んでゐる。此の 豊年萬作は縣が増收計畫の目 標としてゐる二百萬石を突破 するものと見られ本縣の増收 に新記録をつくるであらうと 語られてゐる。尙ほ作柄調査

晩秋繭高値たどり 第一日より二圓高 最高百二十五圓九十錢

石城地方の晩秋繭が出廻り初 めた四倉市場第一日(二十六 日)の取引値が特望の百圓台 を唱ひ最高百二十一圓九十錢 最低百十五圓、平均百十九圓 五十錢と稱する大正時代に於 ける歐洲戦亂以來の高値記録 を以て取引されたことは昨紙 所報の如くであるが第二日目 の昨二十七日は愈よ出廻盛り の初期に入り一千三百三十九 貫十匁出荷、更に高値を添え て左記九十掛の相場を見た

石城中堅農講生の 現地講習 石城郡中堅農講生は來十 月二日前九時好間小學校集 合同村の梨栽培及び北好間上 組内の草農事實行組合その他 に柴田技手引率で現地講習を する

支那那單語 寝合を床位と稱してチ ュアンウエイ、座席を 座位と書いてツオウウ エイ、貸金表を賃目表と 書きチアムウピアオ、 時間表は開車表でカイ チェーピアオ、パスは 免票でミニンピアオ

岡田現役曹長市 の銃後會へ寄附 平市南町出身現役曹長岡田定 次郎氏は休暇歸郷の昨二十七 日小遣金を節約した金五圓を 市の銃後會に寄附す

治安は漸次所期の 域に達しつつあり

拜啓、秋分の候各位には益々 御清邁の段奉賀候、倍々 皆々様には御公務御繁忙の 折柄小生並びに不肖等の留 守宅まで常に多大なる御厚 情、御鞭撻を賜はり厚く々々 御禮申上候、想へば一昨 秋なつかしの驛頭に於て熱 誠あふるゝ激動の御詞に送 られてより茲に二年未だ 武運に恵まれずして御期待 に副ふべきところ少しもな く甚だ恐縮の至りと存じ居 る身に候得とも幸ひにも元 氣ます、旺盛、今後の御 奉公に於てこそ萬全を期し 以て皆様に應へたき決意に これあり候へば何卒御放念 賜はり度願上げ候、現下當 方面に於ける治安工作は所 期の域に達しつつありやに 見受けられ候へども國際關 係による時局の變移が當方 面の敵軍に與へたる影響少 なしとせず、故に全線に亘 りて益々勇奮常に其の機先 を制するの策を以て臨み居 る次第に候得ば希ふ日の來 豫防注射を勵行中である、傳

豫防注射 豚コレラ流行に 出羽神社の例祭 国防献金五百圓

平署管下内郷村の豚コレラ發 生は既報の如く同署では飼養 者と協力豫防に努めてゐたが 昨二十七日平市村木町菜花新 松さん方の豚三頭が眞症と決 定殺処分付されたがこれ で平署管内の同病豚三十一頭 に達し尙ほ蔓延の虞あるため 金五百圓を国防費に献金方 植田署に寄託した

入山校の運動會 石城郡湯本町の入山小學校の 秋季運動會は來十月一日午前 八時から同校庭に於て催され るが今から人氣を呼んでゐる のは親子リレーである、當日 は觀衆で賑ふだらう

田入村中堅農講 同窓會の總會 石城郡田入村の郡中堅農講 習會同窓會では來る三十日午 前九時から同村小學校に於て 總會を開き會員が全力を注い である勤勞栽培の研究その他 の事業及び庶務會計の報告を 行ひ今後の計畫事業について 協議の筈であるが郡農會から 臨席する柴田技手の農事講演 もある

支柱夫即死 石城郡 湯本町御城入山炭礦の支柱夫 吉田實三郎は去る二十六日午 後二時半頃坑内作業中疾走中 の炭車と坑道壁に挟まれ即死 した

坑夫落磐死 支柱夫即死

石城郡内郷村の峰根入山炭礦 川平坑採炭夫桃田國平(三〇)は 去る二十六日午後二時頃坑内 作業中長さ十尺、厚さ一尺の 落磐の下敷となつて即死した

部長の母堂逝去

後藤本縣土木部長の母堂は病 氣療養中であつたが藥石効な く郷里大分縣直入郡竹田村の 字竹田九六二自邸に於て去る 二十六日逝去した

文魁文堂 本店 代理店 一本金五拾圓以上 シヤープでしたら一流 品ホシエスを御指名願 上げます。 御進物としては立派な 化粧箱を用意して御座 います。

入山校の運動會 石城郡湯本町の入山小學校の 秋季運動會は來十月一日午前 八時から同校庭に於て催され るが今から人氣を呼んでゐる のは親子リレーである、當日 は觀衆で賑ふだらう

部長の母堂逝去 後藤本縣土木部長の母堂は病 氣療養中であつたが藥石効な く郷里大分縣直入郡竹田村の 字竹田九六二自邸に於て去る 二十六日逝去した

支柱夫即死 石城郡 湯本町御城入山炭礦の支柱夫 吉田實三郎は去る二十六日午 後二時半頃坑内作業中疾走中 の炭車と坑道壁に挟まれ即死 した

坑夫落磐死 石城郡内郷村の峰根入山炭礦 川平坑採炭夫桃田國平(三〇)は 去る二十六日午後二時頃坑内 作業中長さ十尺、厚さ一尺の 落磐の下敷となつて即死した

文魁文堂 本店 代理店 一本金五拾圓以上 シヤープでしたら一流 品ホシエスを御指名願 上げます。 御進物としては立派な 化粧箱を用意して御座 います。

起る原因に未だ結論を得ず デリレンジャー現象 ラヂオを妨害する

起る原因に未だ結論を得ず デリレンジャー現象 ラヂオを妨害する

農業方面

生産資材(下)

十四種類に公償
五種類近く決定

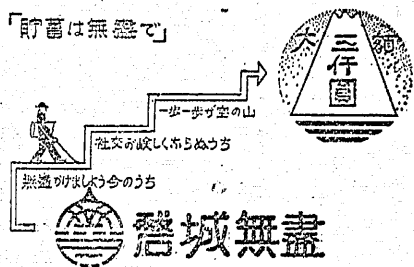
農林水産物の価格取崩に關する権限を農林省に移譲すべきであるとの立場から商工省と数次にわたる協議を経た結果次の如く協定し公定し一步を乗り出したものである、

農林水産物、生産者及び生産者団体の販賣価格は農林大臣の所管とするが商工大臣と協議して決定すること、市場価格は商工大臣の所管とし農林大臣と協議して決定する、農林大臣が生産者販賣価格を決定する場合は商工大臣は同時に卸、小賣価格を決定する、但し生産者団体が直接に卸小賣をする場合はこの価格決定は農林大臣の所管とする、

農林水産用物資、専ら農林水産業用に供される物資については生産者から消費者農家に至る配給各段階の価格は農林大臣が決定しこの場合商工大臣とも協議する、石油、石炭などは商工大臣の所管としその他のものについては兩者協議の上決定する、

なほ従来は米、生糸、肥料の三種はそれ、米穀統制法、糸價定施設法、重要肥料業統制法によつて價格が公定されてゐたがこれからはその公定及び取締の権限が商工省に屬し鶏卵、松脂、大麻、木炭、農機具、絹製品などは商工省の物品販賣價格取締規則に基づき中央物價委員會に諮問して價格の公定が行はれて來たも

ので、今後は「農民がきめた價格」が通用出来るわけである、しかし價格決定の根本方針は少くとも現在の水準を厳守せんとする意向であると云はれてゐる(終り)



無盡城

スペイン GHN 元詰
ゴルフポートワイン
甘味葡萄酒
御婦人の方には少し水を加へて召し上ると風味一そう佳良です
(平二) 西村屋薬舗 (電三)

内科、小兒科
大森醫院
醫學士 大森 勇
應入院 需
平市南町 電二五八番

諸毒下しの大妙藥
安流丸
特約山野邊藥局
平町五丁目

専門 皮膚科 泌尿器科 性病科
診療時間 午前八時より 午後九時まで
醫學博士 江尻伊三郎
平市田町 電話六九一番
院醫尻江

大...小...の御宴會に...ホール...
御家族の御同伴其他の御集ひに御座敷...
味覺實質 衛生萬點の **マルトモ食堂**
平市四丁目電話二二三番

今般、醫學士土井利明氏を副院長として招聘し、内科、小兒科の診療に従事せしむ。
平病院 (平市元共濟病院跡)
電話六四一(番)
院長 醫學博士 鈴木定藏
副院長 鈴木定藏
副院長 高橋俊幸
物理療法科 院長 鈴木定藏
皮膚泌尿器科 院長 鈴木定藏
内臓外科科 院長 鈴木定藏
小兒科 副院長 高橋俊幸
一、内臓外科科 院長 鈴木定藏
物理療法科 院長 鈴木定藏
藥劑科 部長 吉本孝平
診療時間 毎日午前八時より午後九時まで 夜間診療に従事す(急患は此の限りにあらず)

良品廉價
西村屋薬舗
平町五丁目

新時代の要求
附屬事業に等外看護婦を特設いたし皆様の御用向へ身元確實なる婦人を派出致します。
平市南町 **平看護婦會**
電話三〇七
御手不足の御家庭 輕い御病人の付添 妊婦産婦の御家庭

カバと洋品類
眞砂屋
平市南町(前驛) 電話五六

美味經濟 山崎合名會社
油醬
表代城磐 酒銘

診療科目
一、齒科一般 保存科、補綴科、鑲嵌架工科、齒列矯正科、小兒科、齒槽膿漏科、
一、口腔外科
一、レントゲン科
院長 日本齒科醫學士 中野憲次
電話五〇九番
日本醫學士 鹽谷伍郎
主任 佐藤重義
中野齒科醫院
平市田町(松月堂向)